

| | | | |
|-----------------|-------------------------------------|------|--------|
| 行政評価シート（事務事業評価） | | 評価年度 | 4年度 |
| 事業名 | 保健対策推進事業 | 担当課 | 健康づくり課 |
| 事業内容(簡潔に) | 市健康増進計画及び食育推進計画に基づき、市民の健康の保持・増進を図る。 | | |

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

| | | | |
|---------------|--------------|-------------------|-------------|
| 第7次総合計画での目的体系 | 基本方向 | 誰もが安心して暮らせるまちづくり | |
| | 政策 | 健康な暮らしを守る保健・医療の充実 | |
| | 施策 | 健康づくりの推進 | |
| 関連する個別計画等 | 第3次韮崎市健康増進計画 | 根拠条例等 | 健康増進法、食育基本法 |

2 計画(PLAN):事務事業の概要

| | |
|-------|--|
| 事業の目的 | 市健康増進計画及び市食育推進計画に基づき、市民の健康の保持・増進を図る。また、地域の食生活改善推進員による料理講習会・普及啓発活動を通じて食育推進を図る。 |
| 事業の手段 | <ul style="list-style-type: none"> 食育普及活動 食育推進事業の業務委託（市食生活改善推進委員会） 健康づくり推進協議会・食育推進委員会の開催 にこにこ食育講座、託児委託、会場使用料 |
| 事業の対象 | 全市民 |

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

| | | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|-----------|---|-------|-------|-------|
| A | 事業費 (千円) | 880 | 526 | 825 |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | | | |
| | その他(使用料・借入金ほか) | | | |
| | 一般財源 | 880 | 526 | 825 |
| B | 担当職員数(職員E) (人) | 0.68 | 0.68 | 0.63 |
| C | 人件費(平均人件費×E) (千円) | 4,556 | 4,471 | 4,147 |
| D | 総事業費(A+C) (千円) | 5,454 | 4,997 | 4,972 |
| 主な事業費用の説明 | 食生活改善推進委員会委託料 各町(11地区)食生活改善推進委員会への地域食育実習教室開催運営委託料。 | | | |

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

| | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | |
|---------------|---|--|-----|-----------|-----|
| | | | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
| 活動指標 | 1 市委託事業 地域食育実習教室 | 開催回数(回) ※R2年度:家庭訪問実施地区数 | 11 | 10 (※) | 9 |
| | 2 韮崎市食生活改善推進員 | 推進員数(人) | 152 | 167 | 153 |
| | 3 にこにこ食育講座 | 開催回数(回) | 8 | 5 | 7 |
| 妥当性 | <input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない | | | | |
| 上記活動指標と妥当性の説明 | 1 | 11地区で親子や高齢者等に向けた食育実習教室を開催。地域に根付いた活動により、多くの市民に健康づくりの推進を行うことができる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、家庭への訪問事業を実施。令和3年度は、人数制限を設け地区で開催。(地区の方針により未実施あり。) | | | |
| | 2 | 韮崎市食生活改善推進員は健康づくりの担い手としてボランティア活動をしているが、年齢層が高く退会をする会員がいるため、推進員の減少を防ぐ。 | | | |
| | 3 | 韮崎市民で子育て支援センターにらちびの利用者を対象とした託児付きの食育講座を年8回開催し、乳幼児の子育て世代に向けた食育の啓発に取り組む。新型コロナウイルス感染状況により、令和2年度3回・令和3年度1回中止。 | | | |

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

| | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | |
|-----------------------------|-----|---|-----|------------|-----|
| | | | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
| 成果指標 もしくは まちづくり 指標 | 1 | 市委託事業 地域食育実習教室 参加者数(人) ※R2年度: 家庭訪問者数 | 272 | 186 (※) | 61 |
| | 2 | 韮崎市食生活改善推進員 養成講習会開催 修了者数(人) | 24 | - | 18 |
| | 3 | にこにこ食育講座 参加者数(人) | 46 | 32 | 35 |
| 成果 | | <input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない | | | |
| 上記指標の妥当性と 成果の内容説明 | | <p>1 調理を伴う地域食育実習教室のため、新型コロナウイルス感染症の影響により募集参加者数を縮小したことや、家庭訪問事業(R2)としたことが影響し減少傾向だが、地域に最も近い食のアドバイザーとして、継続して行うことが市民の健康づくりに反映される。</p> <p>2 隔年で食生活改善推進員養成講習会を開催し、新型コロナウイルス感染状況により家庭学習等も含めながら18名の新規推進員を養成できた。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症予防のため例年より制限があったものの、参加者のニーズに沿った内容を講義形態等を変えながら提供することで、家庭での推進を広げることができた。</p> | | | |

| | |
|----------|--|
| 事務事業総合評価 | <input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成 |
|----------|--|

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

| | | | |
|----------|---|--|---|
| 今後の事業展開 | <input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要) | | |
| 事務事業の改善案 | 改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか) | | |
| | 令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症のなかでも、多くの市民(参加者)に地域食育実習教室へ参加してもらうため、周知方法や教室の内容、実施回数等を検討する。 韮崎市食生活改善推進員養成講習会を隔年で実施し、現状の市全体の会員数の状況を確認しながら、地域の健康づくり推進を行うにあたり必要な推進員数の定着を行う。 にこにこ食育講座8回実施のうち、離乳食・おやつ作りを目的とした講座を各4回実施し、参加者のニーズに沿った取組を行う。 | | |
| 改善の経過 | 平成21年3月 「韮崎市食育推進計画」策定(平成21年~25年度) 平成26年3月 「第2次韮崎市食育推進計画」策定(平成26年~30年度) (※平成30年度に計画終期を延長:平成32年度) 平成28年3月 「第2次韮崎市健康増進計画」策定(平成28年~32年度) 令和3年3月 「第3次韮崎市健康増進計画」「第3次韮崎市食育推進計画」策定(令和3年度~7年度)(「いきいき健康プランにらさき」として一体化) | | |
| 直近の評価結果 | 内部評価 | 2年度 | <input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| | 評価時の改善案 | <ul style="list-style-type: none"> 地域食育実習教室の参加者数を高めるため、周知方法や教室の内容を検討する。 韮崎市食生活改善推進員養成講習会により令和2年度は167名に増やすことが出来た。 隔年で養成講習会を開催し、推進員数の定着と地域での健康づくり推進を行う。 ママのための食育講座の開催日を年5回から8回に増やし、そのうち4回を離乳食、4回をおやつ作りと目的を分けて開催し、参加者のニーズに沿った取組を行う。 | |
| | 外部評価 | 対象外 | <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| | 評価時の対応 | 対象外 | |
| 課長所見 | 食生活改善推進員の高齢化が進む中、18名が養成講習会を修了することができた。今後も食育教室や講座により地域や家庭での食育の推進に取り組んでいく。 | | |